

授業科目名・形態	セイフティマネジメント 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	日沼 ゆかり	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

医療に携わる職業人として「医療にかかわる人々が、円滑なコミュニケーションをとり安全な医療を提供する環境を整えて質の良い安全な医療を患者、家族に提供できる能力を養う。

【到達目標】

1. リスクマネジメントを含む医療安全の基本的な考え方と看護の役割について理解する。
2. 看護職の法的規定と医療安全が理解できる。
3. 国・看護職団体などの医療安全の取り組みが理解できる。
4. ヒューマンエラーのメカニズムの人間の基本特性とエラーを誘発しやすい環境との関係が理解できる。
5. 医療・看護の業務におけるコミュニケーションの重要性を理解できる。
6. チームで取り組む医療安全の醸成が理解できる。
7. 在宅看護における医療事故と安全対策が理解できる

【授業計画・内容】

- 第1回 医療安全と看護の理念
- 第2回 医療安全への取り組みと医療の質の評価
- 第3回 医療事故のメカニズムとリスクマネジメント
- 第4回 チームで取り組む安全文化の醸成
- 第5回 看護業務に関連する事故と安全対策
- 第6回 在宅看護における医療事故と安全対策
- 第7回 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策
- 第8回 看護学生の実習と安全・KYT（演習）

【授業実施方法】

講義形式、KYT（危機予知トレーニング）演習 レポートもあります。
教科書のメディカ AR の画像を使用した事前学習があります。

【授業準備】

教科書での予習、復習をして知識を深めて講義に臨んでください。

【主な関連する科目】

「看護学概論」「看護倫理」「看護コミュニケーション」「基礎看護技術論 I・II」「看護過程論」等看護領域全体
「感染と免疫」「薬理学概論」

【教科書等】

松下由美子：ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践 医療安全 MC メディカ出版

【参考文献】

杉山良子：ナースのための危険予知トレーニングテキスト
川村治子：系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践【2】医療安全：医学書院

【成績評価方法】

筆記試験 80%、レポート・授業態度等 20%を総合評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

二次医療圏の医療センターの看護管理者としてまた、医療安全認定管理取得者として臨床で医療安全に関わってきました。医療安全管理者の知識を活かし、臨床の実際とつなげながら例や画像を使い少しでもわかりやすい授業とします。

【学生へのメッセージ】

「人は誰でも間違える（ヒューマンエラー）」という意識のもとに「確認の徹底」の大切さが医療安全につながる事を学び危機管理能力を学生の今から身につけましょう。